

令和元年(2019年)7月29日(月曜日)

富士山登山鉄道 実現なるか

構想検討スタート

山梨県

富士山の麓と5合目をつなぐ鉄道の実現に向け、有識者らでつくる「富士山登山鉄道構想検討会」(会長・御手洗富士夫経団連名誉会長)が29日、第1回理事会を東京都内で開いた。1月の山梨県知事選で同鉄道を

公約した長崎幸太郎知事が設置した。環境負荷や経済効果を議論し構想策定を目指す。これまでも鉄道建設が模索されたが成就せず、行方が注目される。

地元観光業界は鉄道建設に関し「冬も5合

目まで行けるため観光客が通年で来る」と期待。夏の混雑ピーク解消につながるとし、車の排ガス減も利点とする。一方、巨額の費用負担や、工事での環境破壊、噴火災害への脆弱(せいじゃく)性などの懸念があり、賛否が割れてきた。

理事会で理事長に選任された山東昭子参院議員は「日本の宝である富士山に登山鉄道を敷こうというのは、わくわくするような気持ちだ。課題は多々あるが、慎重にスピーディーに進めていきたい」と話した。

長崎氏は2年後をめどにルート案を含めた構想をまとめる考えを既に表明。県内に「知事選の目玉にしただけ」(野党筋)との冷めた声もある。